

阿武隈川上流遊水地群整備 (住民説明会)

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに関する住民説明会

令和4年 7月～8月
東北地方整備局
福島河川国道事務所

1. 説明会の進め方
2. 3月～4月の図面確認説明会の主なご意見
3. ご意見を踏まえた検討内容報告
 - ①代替地(宅地・施設園芸)
 - ②付替道路(県道矢吹小野線、町道成田・玉川線及び村道松ヶ作神ノ前線、県道須賀川矢吹線)
 - ③支川処理
 - ④内水検討
4. 意見交換

1. 説明会主旨

住民説明会(令和3年5・6月)

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの一環として、3町村(玉川村、鏡石町、矢吹町)で検討の、遊水地群の範囲(案)を提案

前回 図面確認会(令和4年3月~4月)

- 遊水地整備に係る堤防関係の概略図面(遊水地の平面図、主な横断図)が完成。
- 周囲堤(遊水地外側)部分の用地範囲、堤防の大きさや形など、3町村の地域の皆様にご確認いただき、ご意見を伺った。

今回 住民説明会(令和4年7月)

- 図面確認会で頂いたご意見を遊水地設計に可能な限り反映した結果をお示しする。(遊水地の平面図など)
- ご意見の特に多かった4つの項目(代替地、道路計画、支川処理、内水検討)について、検討状況をご報告し、ご意見を伺うもの。

2. 概略工程(概ね10年間の予定)

■阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに基づき、概ね10年間で治水対策を実施

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト(上流遊水地群整備) 概略工程

概略工程		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
測量	・遊水地範囲検討	→								
事業計画の検討	・計画規模	→								
調査	・地質調査など		→							
設計	・遊水地関係施設		→							
用地調査	・測量 ・土地価格の算定		→							
用地協議	・用地協議、補償			→						
工事					→					

注) 本計画は新年度予算が成立していることを前提としています。
上記プロジェクト工程については、予算の配分や今後の調査状況により変更する可能性があります。

2. 令和3年度、令和4年度、令和5年度の調査等項目

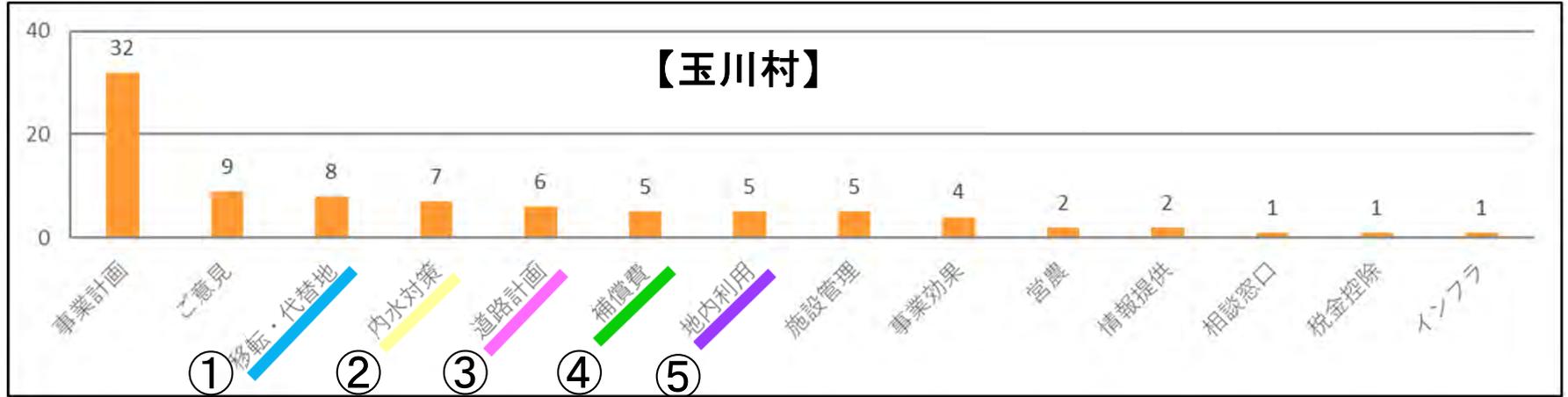
○用地調査・協議、各種調査等を以下の工程で実施予定

主な調査項目	年度 月	令和3年度					令和4年度							令和5年度							概要																
		10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03	04		05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03					
事業計画の説明や意向把握		随時					説明会	説明会(随時)							随時					支川処理、内水対策など随時説明																	
用地関係	主に農地	9月下旬より用地調査開始					確認会	用地説明会							9月上旬より用地協議開始																						
	主に宅地								9月下旬より用地調査開始							確認会	令和5年6月より用地協議開始																				
地下水位観測		令和3年 9月下旬より調査開始										必要に応じ観測を継続																									
環境調査観測(動植物、騒音・振動等)		令和3年 9月下旬より調査開始																												R5以降も継続実施							
埋蔵文化財関係調査(福島県による現地確認等)	農地部の確認調査																													用地協議(農地)が完了した箇所から試掘調査を実施							R3~R4 包蔵地確認調査
	宅地部の確認調査															宅地部の確認調査							用地協議(宅地)が完了した箇所から試掘調査を実施							R4以降 試掘調査 試掘調査結果を踏まえて、本調査範囲の確定							
施設設計測量調査																														道路・橋梁など各施設の測量・地質調査等を実施							
工事																														用地協議が完了し、施工が可能となった箇所から順次着手							

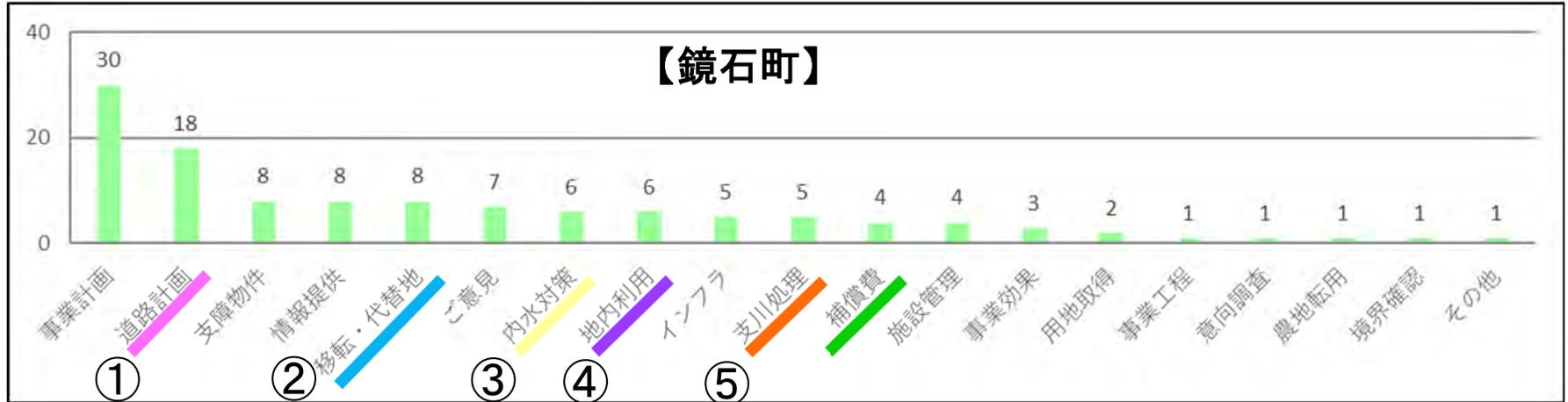
注) 上記プロジェクト工程については、今後の調査状況により変更する可能性があります。

2-1. 3~4月の図面確認会でのご意見等

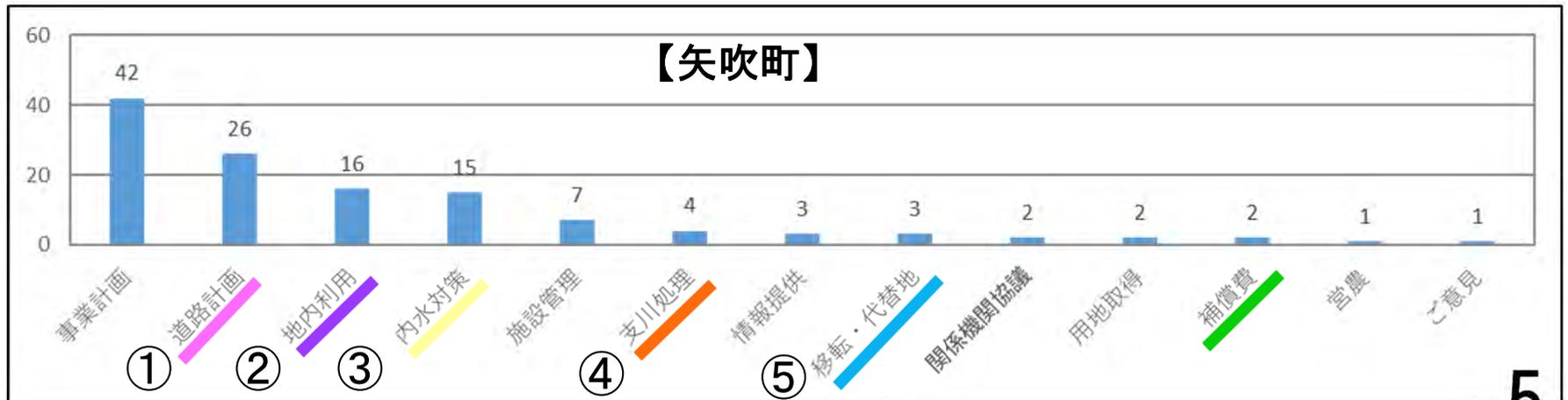
- ①代替地
- ②内水対策
- ③道路計画
- ④補償費
- ⑤地内利用



- ①道路計画
- ②代替地
- ③内水対策
- ④地内利用
- ⑤支川処理



- ①道路計画
- ②地内利用
- ③内水対策
- ④支川処理
- ⑤代替地



2-2. 主なご意見と対応状況

事業計画

うつくしま大橋より上流の整備について。移転等を考慮すると事業期間が短すぎる。堤防の浸透対策は大丈夫か。堤防の高さはどの程度か。河道掘削は実施するか。洪水時の水位を見せて欲しい。

➡ 事業計画に関する貴重なご意見等は、今後の検討に活かして参ります。

道路計画

農免道路と県道は生かしてほしい。出水時に(対岸に渡る)アクセスする方法はあるのか。

➡ 地元要望を踏まえ、道路管理者と調整した結果のルート案を今回お示します。

内水対策

堤防ができると内水が心配。堤防が完成した後、支川から逆流しないのか？

➡ 遊水地(周囲堤)整備前後の内水状況をシミュレーションの検討状況を報告します。

地内利用

将来における遊水地の利活用についてはどうなるのか？ 堤防上に桜並木を作れないか。

➡ 地域の声を聞く場を設けて、検討を進めて参ります。

代替地

宅地、田畑の代替地は誰か探しているのか？ 移転先は国で確保していただけるのか。

➡ 自治体(町村)の協力のもと、国が主体となって代替地(宅地・施設園芸)を造成して参ります。

ご意見

ほ場整備完了後、すぐにこのような計画が出てきて、すぐに賛成とはいえない。

➡ ご意見を伺いながら、引き続き丁寧にご説明させていただきます。

施設管理

湛水時等の道路通行止めの判断は誰が行うのか。堤防法面の除草など維持管理はどうするのか。

➡ 施設管理については、地元の声をしっかり聞いて、管理手法等について検討を進めて参ります。

補償費

この先何十年も収入が期待できる耕作地がなくなるので、そこも補償されないのか。

➡ 算定中(9月上旬に説明会の開催を予定しております。)

支川処理

逆流対策はどうするのか。支川から遊水地へ水を抜く機能を備えておくべき。

➡ 支川処理については、基本的な対応方針を今回ご説明します。

情報提供

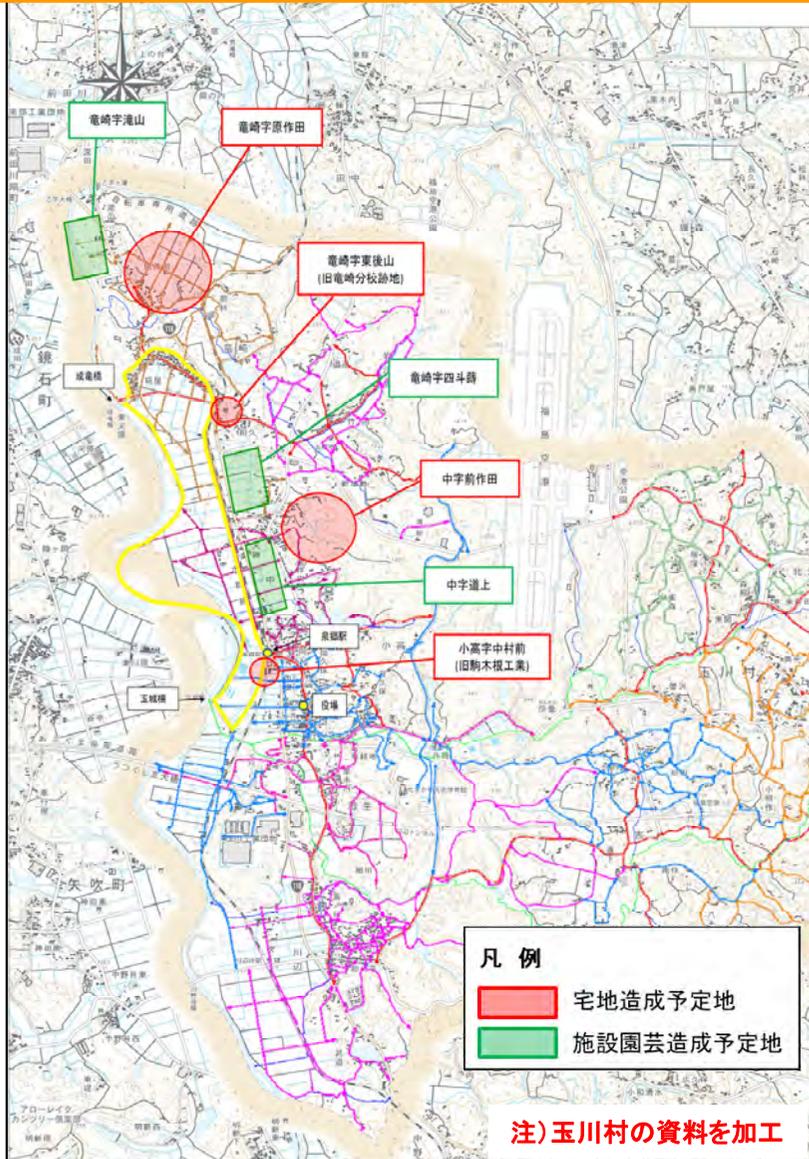
令和元年の時は、水路から水が上がってきた。2~3m程度で地下水が出てきた。

3-①. 代替地(宅地・施設園芸)について(玉川村の例)

○自治体の協力のもと、国が主体となって代替地を造成

(宅地に関しては現有土地との交換、農地(主に施設園芸)は代替地所有者との三者契約(地権者、所有者、国))

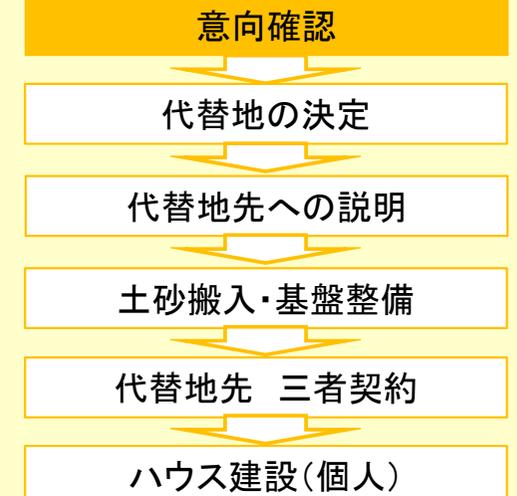
第二遊水地(玉川村)の代替地候補箇所



代替地(宅地)整備の流れ

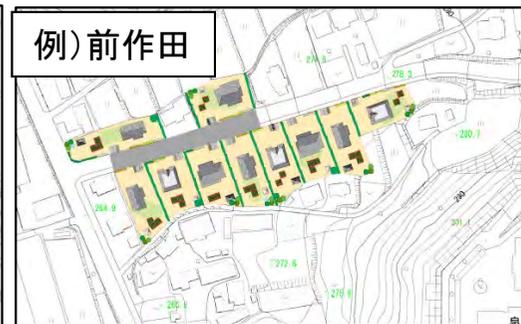
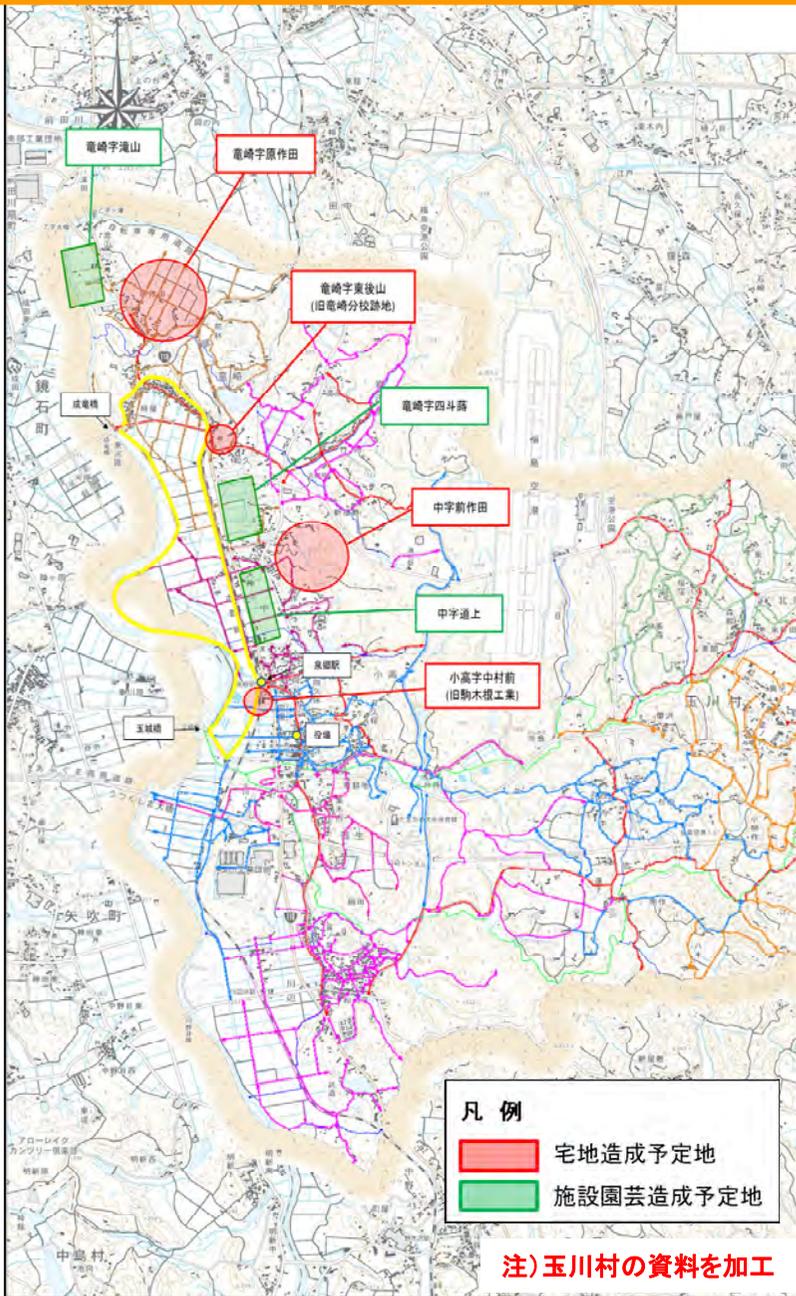


代替地(施設園芸)整備の流れ



3-①. 代替地(宅地・施設園芸)について(玉川村の例)

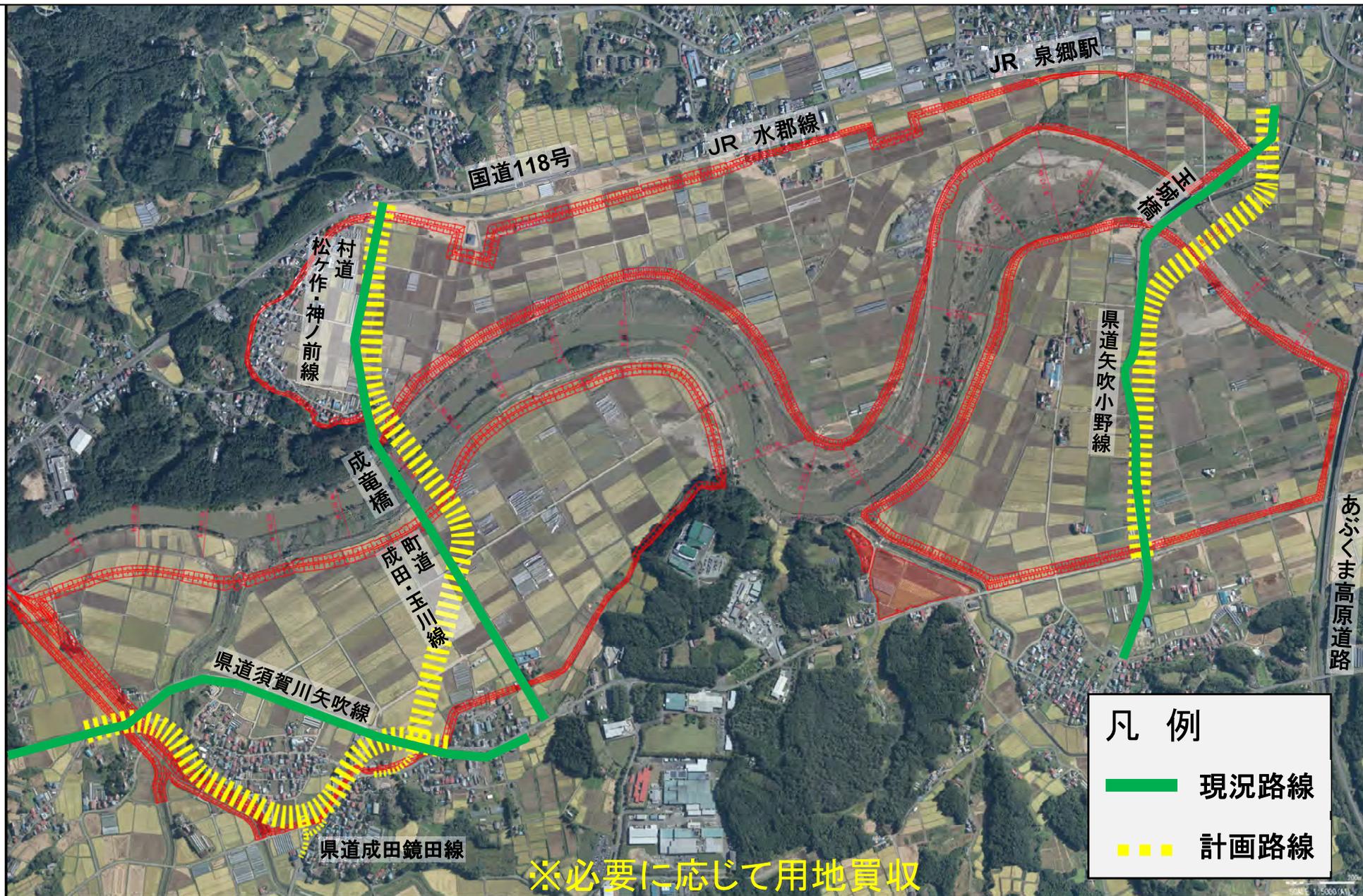
第二遊水地(玉川村)の代替地造成イメージ



※移転戸数等が不明な段階のためあくまでも参考イメージ

3-②. 付替道路について

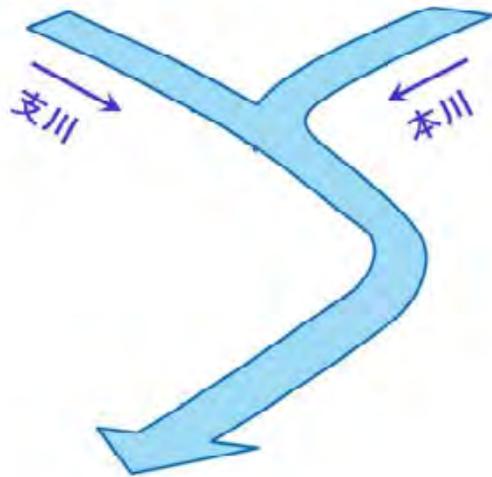
- 道路管理者との協議によりルートを検討。
- 道路の高さについては、遊水地に水が貯まっても水没しない高さで計画。



3-③-1. 支川処理の考え方について

- 本川(阿武隈川)のバックウォーターに対する氾濫防止対策(堤防の嵩上げを基本に整備)
- 範囲や規模の詳細は現在検討中。

・バックウォーター現象

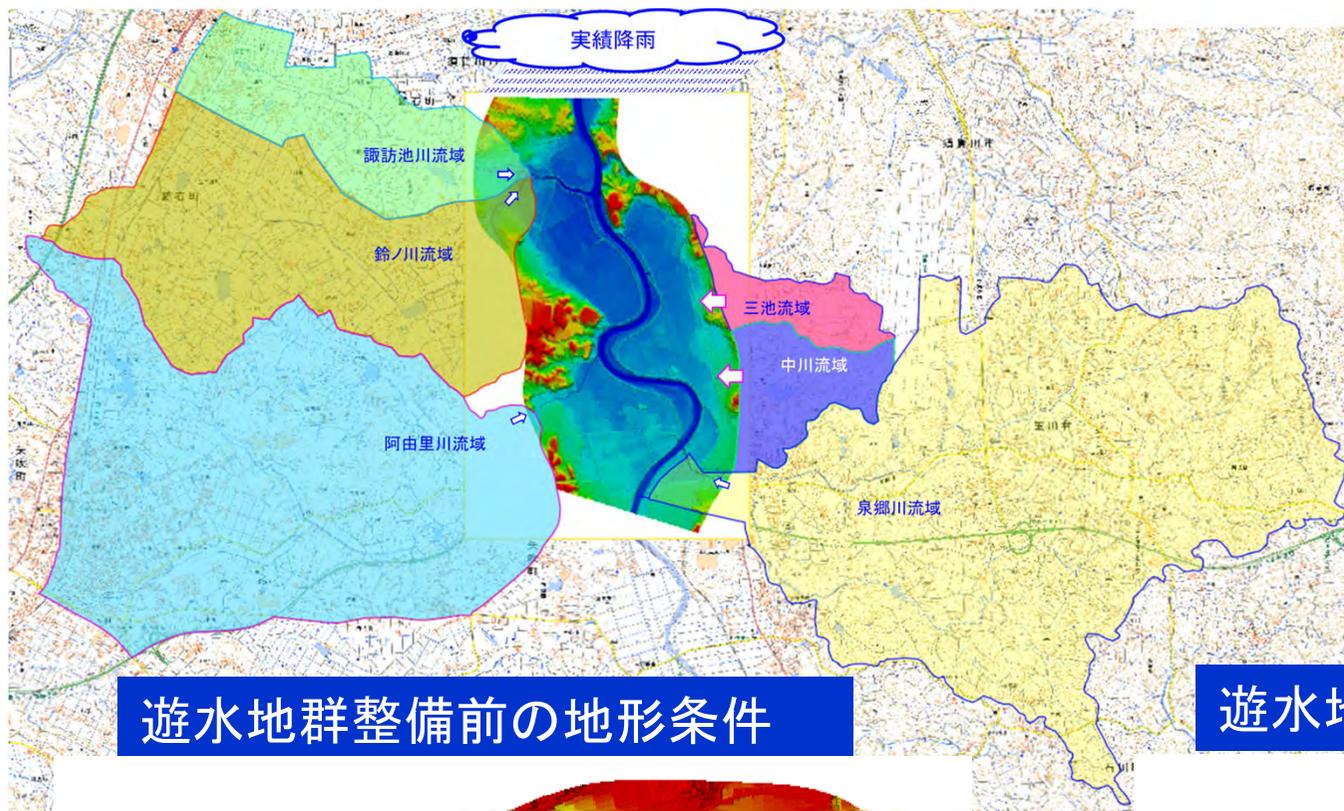


本川と支川の水位が高い時間が重なって、支川の洪水が流れにくくなります。



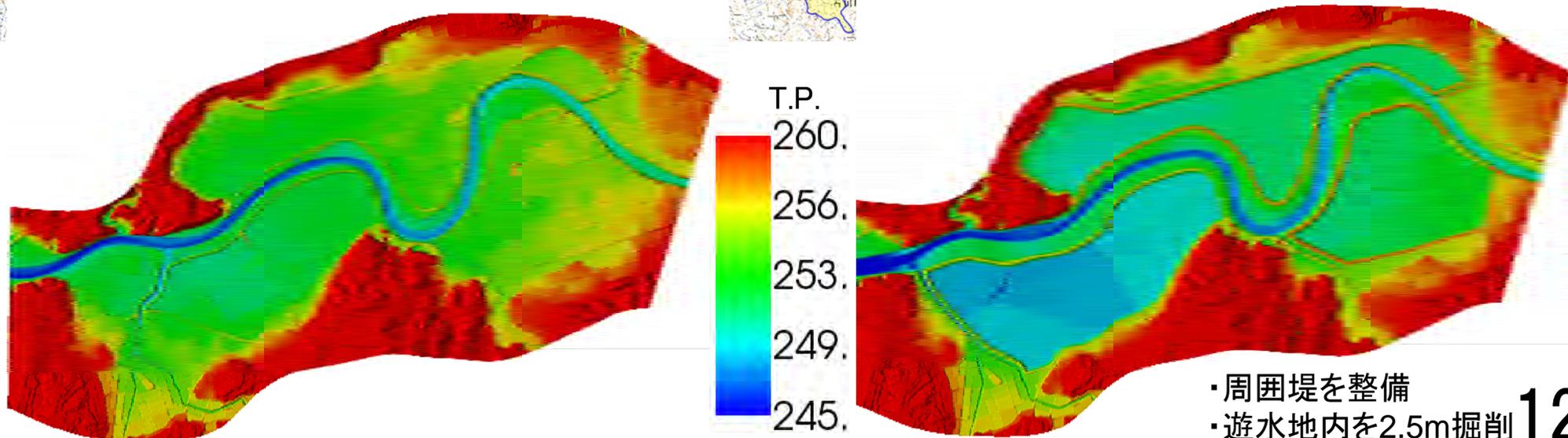
3-④-2. 内水検討について

○流入する流域を設定、遊水地整備前後の地形条件をモデル化して検討を実施。



遊水地群整備前の地形条件

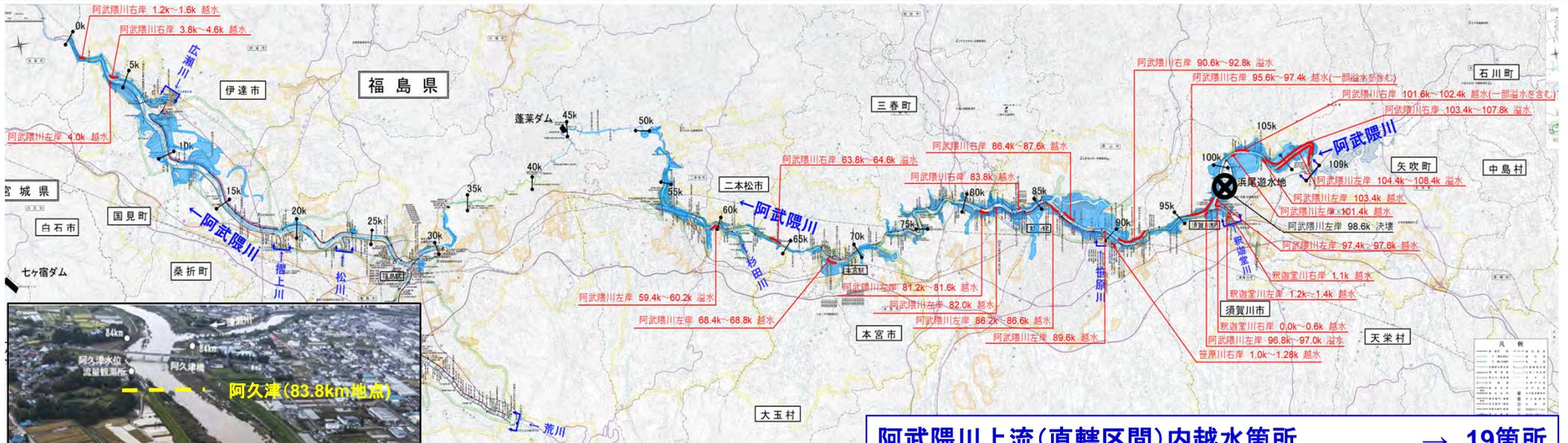
遊水地群整備後の地形条件



- ・周囲堤を整備
- ・遊水地内を2.5m掘削

河道掘削＋遊水地整備の効果(阿久津水位観測所)

■「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」により治水対策（河道掘削・築堤・上流遊水地群）を実施することにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合、阿久津水位観測所（郡山市：83.8km地点）付近水位において
 ○事業実施前と比べて『河道掘削では約1.0m低下』『遊水地整備後は約1.7m低下』させ、堤防からの越水を回避し流域における浸水被害の低減を図る。



阿武隈川上流(直轄区間)内越水箇所 → 19箇所
 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト 事業実施後 → 0箇所

R元年東日本台風時(氾濫戻し)の水位

河道掘削後(遊水地なし)の水位

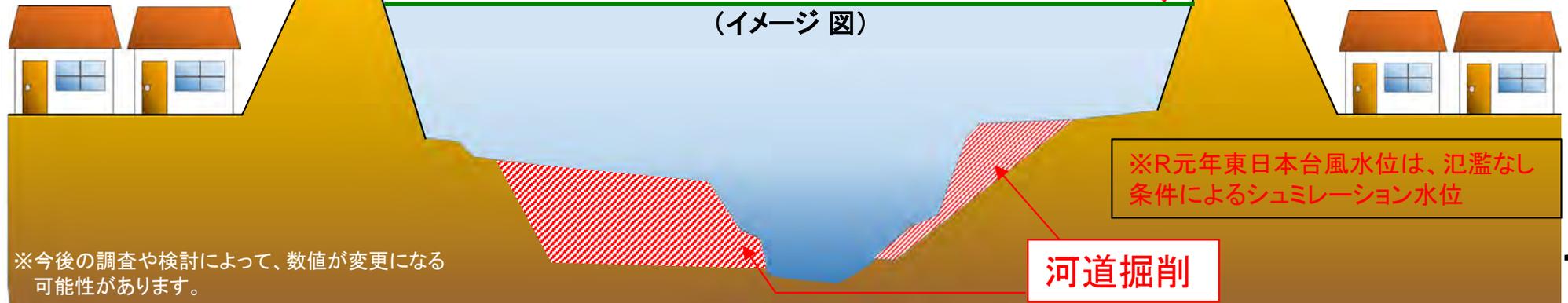
約1.0m水位低下

約1.7m水位低下

遊水地実施後の水位

約0.7m水位低下

(イメージ図)



※R元年東日本台風水位は、氾濫なし条件によるシュミレーション水位

※今後の調査や検討によって、数値が変更になる可能性があります。

河道掘削

遊水地に関する相談窓口の一元化

■ 遊水地に関するお問合せは、「阿武隈川上流緊急治水対策出張所」へご連絡下さい。

阿武隈川上流緊急治水対策出張所

【阿武隈川上流遊水地群整備のお問い合わせ先】



国土交通省

東北地方整備局 福島河川国道事務所
阿武隈川上流緊急治水対策出張所

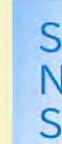
☎ 0248-63-9966

(受付時間 | 平日8:30~17:15)

住所(〒962-0823福島県須賀川市花岡34-2-2F)



阿武隈川緊急治水
対策プロジェクトHP



福島河川国道事務所
公式twitter

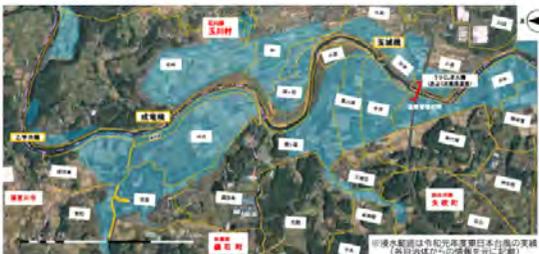
■ 遊水地に関する情報は、以下のwebサイトでご覧頂けます。

遊水地整備に関するwebサイト



洪水を一時的に貯留し、川の中を流れる水の量を
少なくする施設(遊水地)を検討します。

令和元年東日本台風浸水面積



検討地域の 特徴	遊水地とは？	阿武隈川 ニュース
説明会 実施状況	進捗状況	補償
阿武隈川の防災情報	阿武隈川 水位・雨量観測	ご意見

阿武隈川ニュース 第11号

「阿武隈川上流遊水地群整備事業に係る図面確認会」開催報告

令和4年3月~4月、3町村(鏡石町、矢吹町、玉川村)の地域住民を対象に遊水地群整備事業に係る計画図面(案)をご覧いただく図面確認会を開催いたしました。図面確認会では堤防【開削堤、固積堤(石ページ ※1 ※2 参照)】の平面図や横断面、遊水地の事業範囲について説明を行い、地域の皆さまからご意見・ご要望をいただきました。大変お忙しい中、説明会にご参加いただきました皆さまには、誠にありがとうございました。説明会の開催状況・説明内容・ご質問・ご意見につきましては、報告させていただきます。阿武隈川沿川に住む皆さまの、安心・安全な暮らしの実現に向け、提案させていただきました治水対策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

■玉川村実施状況

(開催日時・参加人数)

- ① R4.3.28 (月) 19:00~ 64名
- ② R4.3.29 (火) 19:00~ 34名
- ③ R4.3.30 (水) 19:00~ 25名

合計 123名
(開催場所) たまかわ文化体育館

■鏡石町実施状況

(開催日時・参加人数)

- ① R4.4.5 (火) 19:00~ 30名
- ② R4.4.6 (水) 19:00~ 29名
- ③ R4.4.7 (木) 19:00~ 32名
- ④ R4.4.8 (金) 19:00~ 15名

合計 106名
(開催場所) 鏡石町成田橋改修センター

■矢吹町実施状況

(開催日時・参加人数)

- ① R4.4.12(火) 19:00~ 28名
- ② R4.4.13(水) 19:00~ 23名
- ③ R4.4.14(木) 19:00~ 17名

合計 68名
(開催場所) 三城目集落センター



遊水地概略設計 (検討案)



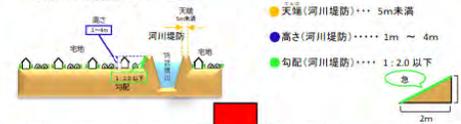
<遊水地の地内掘削>

- 掘削の規模
2~3mの掘削を想定しています(地下水位の調査結果による)。
- 掘削土の活用
地内の掘削により発生する土砂は、遊水地堤防(赤色着色部分)の整備に活用いたします。
- 残った掘削土は、福島空港の用地を中心に運搬先を調整、検討中です。

- ※1 開削堤とは？
→ 新築堤を築(遊水地を掘削した土)と同等で、阿武隈川に築して対応する。
- ※2 固積堤とは？
→ 遊水地と阿武隈川を仕切る堤防(土留壁)で、阿武隈川に築する堤防。

堤防横断面 (遊水地整備前後比較)

<遊水地整備前 イメージ図>



<遊水地整備後 イメージ図>

